

平成 26 年度 公益社団法人日本エアロビック連盟
公認エアロビック指導員〔専門科目〕養成講習会開催要項

本開催要項は「公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度」に基づいて行う指導者養成講習会のうち、「専門科目」の講習内容について示したものです。

1. 目的

- ・本講習会では(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者のうち、「エアロビック指導員」を養成します。

2. 養成する指導者の役割

- ・地域のスポーツクラブやスポーツ教室などにおいて、個々人の年齢や性別などの対象に合わせたエアロビックの基礎的な実技指導にあたります。

3. 主催

- ・本講習会は(公財)日本体育協会と(公社)日本エアロビック連盟(以下「JAF」といいます)の共催により実施します。講習内容のうち共通科目の講習を(公財)日本体育協会が行い、専門科目の講習をJAFが行います。

4. 協力

- ・都道府県エアロビック連盟、JAF 認定指導専門委員

5. 受講条件

- ・平成 26 年 4 月 1 日現在、満 18 歳以上で健康な方
(※エアロビック指導に携わっている又は興味を持っている方々にお勧めします。)

6. 講師

- ・JAF 中央講師、JAF 認定指導専門委員、JAF 本部または都道府県連盟が推薦する指導者

7. 開催期日・開催場所・募集人数・申込締切

地区		日程(全4日間)	会場	募集人数
東京	前期	7月26日(土)~27日(日)	スクエア荏原	30名程度 (定員になり次第〆切)
	後期	8月30日(土)~31日(日)		

8. 実施カリキュラム (別紙)

9. 受講料

一般	
(1)講習料	46,280円
(2)審査料	15,420円 (※実技免除対象者は10,280円) 理論 5,140円 実技 5,140円 指導実習 5,140円
(3)教材費・資料代	9,600円
合計	71,300円

10. 専門科目申込方法

- ・ 所定の受講申込書に必要事項をご記入の上、JAF 本部事務局までお申し込み下さい。
- ・ 2 回までの分割払いが可能。
1 回目 7 月 18 日(金)まで 40,000 円 2 回目 8 月 22 日(金)まで残額
郵便局 (公社)日本エアロビック連盟 指導部 00140-1-190717
- ・ 受講料のお振込み後、都合により講習会に参加できなくなった場合、原則として 4 年以内に他の開催会場で受講することができます。

11. 共通科目申込方法

- ・ 平成 26 年度 (公財)日本体育協会公認指導員養成講習会申込書(1 枚目が注意事項 2 枚目~4 枚目が複写の申込書)もしくはスポーツリーダー養成講座のどちらでも共通科目の申込になります。
※どちらも NHK 学園生涯学習 通信講座になります。
※共通科目 I の免除申請の有無を必ずご記入の上所有資格がある場合資格番号に○印をつけてください。
【共通科目 I が免除となる条件】
 - ・ すでに他の公認スポーツ指導者資格を保有している場合
 - ・ 「免除適応コース修了証明書」を保有している場合
 - ・ その他関連資格を保有している場合 (レクリエーションコーディネーター・日本スポーツ少年団認定員・健康運動指導士等) 但し健康運動指導士は I・II 両方免除
- ・ 平成 26 年度 (公財)日本体育協会公認指導員養成講習会申込書は注意事項に締切が 6 月 30 日となっておりますが、競技団体ごとにまとめて申し込むため、6 月 23 日(月)までに JAF 必着でお申込下さい。
- ・ スポーツリーダーをお申込の方はパンフレット受講申込書(ハガキ)に必要事項をご記入の上、お出し下さい。

12. 検定試験(審査)

- ・ 講習に基づく検定試験は、理論試験、実技試験、指導実習試験を行います。
- ・ 自宅学習(実技 10h)については、所定の証明書を提出下さい。
 - (1) 理論試験は 60 点以上、実技試験、指導実習試験は 80 点以上が合格となります。
※第 2 版エアロビック検定 5 級以上、第 3 版エアロビック検定 3 級以上の方(登録者)は、**実技試験とその試験料が免除**になります。
 - (2) 理論、実技、指導実習試験の全てに合格した方には「専門科目修了証」が発行されます。
 - (3) 理論、実技、指導実習試験のうち、いずれかが合格に満たない場合は「保留」となり、受講年度を含む 4 年以内に再受検が必要です。

13. 認定及び登録

- ・ JAF 登録規定により資格の認定・登録には JAF 個人賛助会員への入会が必要です。入会手続きが完了していない場合、本資格の登録手続きができません。
- ・ 共通科目及び専門科目の両科目が修了し、指導者登録の手続きを完了した方には(公財)日本体育協会公認エアロビック指導員として同協会より「認定証」「登録証」が交付されます。
- ・ 共通科目が修了していない場合、希望される方は「JAF 認定エアロビック準指導員」として登録することができます。

14. 登録更新

- ・ 本資格の登録有効期限は 4 年間です。
- ・ 本資格を登録更新する場合、登録有効期限内に最低 1 回は、JAF 本部又は都道府県エアロビック連盟、(公財)日本体育協会(都道府県体育協会を含む)が実施する義務研修(資格更新研修)を受ける必要があります。

以上

公認エアロビック指導員 養成講習会 [専門科目]基本カリキュラム

	講習カリキュラム名	内 容
理 論	JAF 組織の概要	エアロビック連盟の活動概要／エアロビックの広がり
	エアロビック概論	起源と歴史／生涯スポーツ・地域スポーツとしてのエアロビック
	エアロビックの運動論	エアロビックの運動特性／技術理論／技術教程
	エアロビックの指導法	指導の原則と留意点／指導計画／プログラムの作成法
	技能検定概要	技術教程と検定システム
	エアロビックと体カトレーニング	トレーニングの原則と方法／フィットネスとしての指導法
	エアロビックの障害と予防	起こりやすい障害／運動障害への対処
	健康安全管理	健康安全上の留意点／用具と設備
	スポーツ指導者におけるコミュニケーション法	指導者としての対人コミュニケーションの基本と応用
	理論試験	基礎理論全般
実 技 ・ 指 導 実 習	基本段階の実技練習	音楽の拍に合わせて身体全体で動けるようにする練習 ※リズムや動きに慣れる
	基本段階の指導練習	基本技術を用いた初歩的な指導練習
	初級段階の実技練習	基礎技術を連結して連続的に動けるようにする練習 ※基礎的な動きをリズムカルにバランスよくできる
	初級段階の指導練習	初級段階の技術を用いた指導の練習
	チームエアロビックの創作	チーム・パフォーマンスの作成及び発表
	プログラム指導の実際	対象別プログラムの構成及び指導練習
	段階別指導法	集団指導の練習及び指導実習試験の課題練習
	実技のまとめ	実技に関するまとめ／実技試験の練習
	指導実習のまとめ	指導実習に関するまとめ／指導実習試験の練習
	実技試験	初級段階の実技試験
指導実習試験	グループでの主運動の指導	